

議会だより

いわいずみ

No.195

2021.7.15 発行
岩手県岩泉町議会



contents

- P2 新たな4年間へ 14人の想い
- P7 町の考えを問う(6議員が一般質問)
- P14 新企画「町の課題を取材」～獣医師不足が深刻～

大家族シリーズ 24

小川(門)の坂根利幸さん7人家族です。利幸さんとお孫さん3人はよく一緒にマラソン練習に励んでいるスポーツ一家です。

毎年4人で町のロードレース大会に出場しています。

1番 千葉 泰彦 (48歳) 1回

お子さんお孫さんも
楽しく住み続けられる町 岩泉



2番 佐藤 安美 (59歳) 1回

初議会 初登壇 小さな声聞いて
町政へ 全地域 長距離ランナーで



3番 畠山 昌典 (50歳) 2回

ひたすらに ただひたすらに町のため
夢があふれる 誇れる町へ



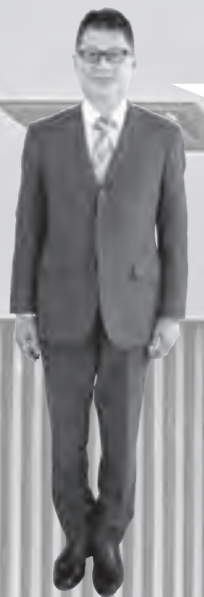
4番 畠山 和英 (69歳) 2回

一人ひとりの思いを胸に
着実に 誠実に 活動します



5番 八重樫 龍介 (61歳) 3回

町民の小さな声に寄り添って
その声まちに届けます



6番 三田地 久志 (63歳) 3回

町の潜在能力を活性化し
元気な岩泉を創る



議長 14番 野館 泰喜 (70歳) 4回

次世代へ 待遇改善 断行し
希望とやる気の 掘り起こし



新たな4年間へ 14人の想い

岩泉町議会は5月10日、改選後
議長と副議長を選出し、議

初めての議会を開催しました。
員の議席が決まりました。

副議長 13番 菊地 弘巳 (68歳) 6回

6月の つゆの晴れ間のセミのこと
我れの心も ふるいたつなり



7番 林崎 竟次郎 (71歳) 3回

住民の声が命と胸におき
願い実現めざして走る



8番 坂本 昇 (71歳) 4回

岩泉の良さを生かし、明るく元気な
まちを創りましょう！健康第一で！



9番 早川 ケン子 (76歳) 5回

地域を守り 穏やかに過ごせるように
活動します



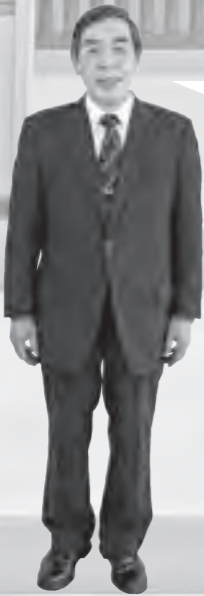
10番 三田地 和彦 (73歳) 5回

町民から選ばれた者として
町民のために全力で取り組み



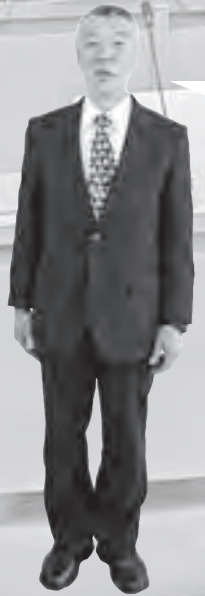
11番 合砂 丈司 (69歳) 6回

改選で議員となり新たな心で日々
頑張って参りたいと考えています



12番 三田地 泰正 (71歳) 8回

初心と感謝を忘れることなく
これまでの経験と立場を活かし努力する



議会の新体制スタート

3年第3回臨時会（初議会）は5月10日に開かれ、議長・副議長のほかに左記のとおり議会構成が決まりました。

議会運営委員会	
委員長	畠山 和英
副委員長	合砂 文司
委員	林崎 竟次郎
委員	三田地 久志
委員	八重樫 龍介
委員	畠山 昌典

産業常任委員会	
委員長	三田地 久志
副委員長	畠山 和英
委員	菊地 弘巳
委員	三田地 和彦
委員	林崎 竟次郎
委員	佐藤 安美

一部事務組合等議員
宮古地区広域
行政組合議会議員
三田地 久志
畠山 和英
千葉 泰彦
沿岸知的障害児
施設組合議会議員
合砂 文司
後期高齢者
広域連合議会議員
林崎 竟次郎

総務常任委員会	
委員長	八重樫 龍介
副委員長	千葉 泰彦
委員	三田地 泰正
委員	合砂 文司
委員	早川 ケン子
委員	坂本 昇
委員	畠山 昌典

広報広聴常任委員会	
委員長	畠山 昌典
副委員長	佐藤 安美
委員	八重樫 龍介
委員	畠山 和英
委員	千葉 泰彦
委員	野舘 泰喜



ALPS 処理水海洋放出に反対



頑張る漁業者のためにも
考え直して欲しい。

3年第2回定例会は、6月3日から8日まで6日間の会期で開きました。
町から提案のあった9議案を審議。議員発議で「東京電力福島第一原子力発電所におけるALPS処理水（※）」

海洋放出決定を撤回し、慎重な対応を求め「意見書」を提案し、全て全会一致で原案のとおり可決しました。
◆議員発議とは：議員が議案に議案を提出すること

まずの声

大澤 美智子さん
(小本浜漁業協同組合勤務)

水産資源の枯渇、担い手不足など漁業は厳しい環境に置かれています。さらに主力の秋鮭の不漁が続き一層過酷な状況下にあります。その中で安全性が確定していないALPS処理水の海洋放出は、風評被害など大きな打撃となるので反対です。



主な議案

- ◆小本漁港地域水産物供給基盤整備（北防波堤）工事請負契約 宮城建設(株) 1億9910万円
- ◆町道メンブクメ線舗装工事請負契約 熊谷建設(株) 1億10万円
- ◆町道刈屋沢長田線舗装工事請負契約 三好建設(株) 7700万円
- ◆町道唐地線橋梁上部工工事請負契約 小野新建設(株) 1億835万円
- ◆家畜運搬車購入 盛岡いすゞモーター(株)宮古営業所
- ◆除雪ドーザ(11ト級)購入 1568万円
- ◆除雪ドーザ(8ト級)購入 1194万円
- 日本キャタピラー(合) 宮古営業所

教育委員の任命に同意

新たに三上亜希子さん（釜津田・47）を教育委員会委員へ任命することに同意しました。任期は、6月28日から3年間です。



三上亜希子さん

議会活動

- 4月 26日 議員打合せ会 (各議員)
- 5月 6日 議会全員協議会 (議員会議)
- 10日 第3回臨時会 (各議員)
- 11日 東部町村議長会協議(正副議長)
- 13日 商工会要望書手交 (議長)
- 18日 宮古地区広域行政組合議会臨時会(組合議員)
- 21日 第3回議会全員協議会(各議員)
- 24日 町村議会議員研修会(各議員)
- 25日 商工会通常総会(議長)
- 28日 広報広聴常任委員会(各委員)
- 6月 3日～8日 第2回定例会(各議員)

監査委員の選任に同意

5月10日に任期が満了した町の監査委員に、箱石憲市さん（小本・65）を選任することに同意しました。
議会選出の監査委員には、坂本昇議員（71）を選任することに同意しました。



坂本昇議員
任期 R3.5.11～R7.4.30



箱石憲市さん
任期 R3.5.11～R7.5.10

(※) 多核種除去設備で汚染水からトリチウム以外の放射性物質を規制基準以下まで取り除く処理がされた水

町の考えを問う

一般質問とは…議員が町政課題への質問や提言を行うことです。

はたけやま まさのり
 畠山 昌典 議員 (8ページ)

- ・ふれあいらんどの整備は
- ・子どものスポーツ支援を
- ・ジムの整備を

さかもと のぼる
 坂本 昇 議員 (9ページ)

- ・コロナ禍事業所の経済支援を

はたけやま かずひで
 畠山 和英 議員 (10ページ)

- ・町政の総括と二期目出馬は
- ・新過疎計画の政策立案は

さとう やすみ
 佐藤 安美 議員 (11ページ)

- ・早急に獣医師確保対策を

はやしざききょうじろう
 林崎 竟次郎 議員 (12ページ)

- ・次期出馬の決意は
- ・風力発電の影響は

ちば やすひこ
 千葉 泰彦 議員 (13ページ)

- ・企業版ふるさと納税の戦略は
- ・公共交通網の構築は

6月定例会 一般質問

6人の議員が質問しました。



一般質問全文は、HPで公開しています。

補正予算審査特別委員会（畠山昌典委員長）は、6月8日に開きました。コロナワクチン接種、企業版ふるさと納税、コミュニティ助成（宝くじ助成）に活発な質疑がありました。

ワクチン ネット利用できない人は 電話や窓口で入力を補佐

問 インターネットを利用できない人に不利益は出ないか。

答 入力に困難な人は、役場・各支所の窓口で入力作業の補佐を行う。電話受付も併用し、職員が入力して予約するよう進める。

問 キャンセルが出た事例とその時の対応は。

答 入力に困難な人は、役場・各支所の窓口で入力作業の補佐を行う。電話受付も併用し、職員が入力して予約するよう進める。

問 初期は、済生会岩泉病院の入院患者や施設入所者にキャンセル対応した。

答 初期は、済生会岩泉病院の入院患者や施設入所者にキャンセル対応した。

問 接種した人で、トラブル、体調変化を起こした人は確認されているか。

答 接種した人で、トラブル、体調変化を起こした人は確認されている。

問 2回目の接種後に発熱、だるさを訴えて受診した人はいるが、副反応という報告事例はない。

答 2回目の接種後に発熱、だるさを訴えて受診した人はいるが、副反応という報告事例はない。

問 企業版ふるさと納税とは

答 制度上認められない。寄付事業に関することもできない。

問 企業が町に納税（寄付）します。町の地域再生計画事業に対する寄付が税額控除の対象になります。1回あたり10万円以上の寄付が対象です。

答 企業が町に納税（寄付）します。町の地域再生計画事業に対する寄付が税額控除の対象になります。1回あたり10万円以上の寄付が対象です。

問 宝くじ助成で整備された備品の活用実績を把握しているか。

答 宝くじ助成で整備された備品の活用実績を把握している。

問 把握していないが、基本的には有効活用されていると考える。

答 把握していないが、基本的には有効活用されていると考える。


問 地域振興協議会の活動実績報告と重なる部分があるので検討する。

答 地域振興協議会の活動実績報告と重なる部分があるので検討する。

ますの声

山内 義廣さん（大川）

かつて大雪での停電や台風で被災したわが集落も宝くじ助成で、除雪機や発電機を順次備えていただき大変助かっています。備えがあれば安心感もあります。




ワクチン接種 ネット予約が可能に

企業版 ふるさと納税の情報発信を 委託先と相談して進めたい

問 もっと町民に理解してもらい、町関係企業への発信が大事ではないか。

答 実際、町ゆかりの企業からご寄付いただいている。委託先と相談しながら進める。

問 返礼品は制度的にあるか。

答 制度上認められない。寄付事業に関することもできない。

地域振興 宝くじ助成の活用実績は 実績報告方法検討したい


問 本年度の助成対象地域はどこか。

答 大平と猿沢である。

ますの声

袋野 星来さん（小本）

スマホで予約が出来ると便利で大変ありがたいです。県外の友達ともしばらく会っていないので、早く接種が完了できたら良いと思います。





坂本 昇議員



一般質問全文
QRコード

問 県では、売り上げが落ち込む事業者に向けて、1店舗当たり最大30万円の支援金を支給する。さらに、売り上げの前々年比較で一定以上の減少があれば小売り業、飲食、宿泊、卸売り業者への支援も視野に入れている。

答 町では、売り上げが数多くあるものと推測される。飲食店の感染抑止対策を講じるとともに、町独自の支援金の支給が必要である。県のアンケート調査結果では、48パーセントの県民が飲食店の利用を控えている状況であり、関係事業所の経営状況はますます追い込まれていく。地域経済が衰退し、

町長 県における新たな支援策は、飲食店への認証制度の導入と売り上げが減少した中小事業者への支援などとなっている。先般招集された県議会臨時会において、これらの関連予算案が可決された。支援制度の詳細が間もなく示されるものと考えている。これを踏まえ、県と連携しながら、本町の事態に即した対応を考えていく。特に、売り上げが減少した中小事業者向

けの支援については、今年の売上が前々年の同月比で50パーセント以上の減少等が条件になるなど、本町の実態に即した場合、制度上の基準が厳しい。さらには対象業種が卸売業、小売業、宿泊業、飲食業などに限定されることもあり、県の支援対象外の事業者も出てくるのが想定される。また、岩泉商工会からも県の支援事業の対象とならない事業者への救済措置を求める要望もある。町内事業者の現状などを引き続き分析し、県事業とも呼応しながら、町内の経済実態に即した支援を検討していく。



町内経済活性化が期待されるプレミアム商品券の発売

17文字のひとりごと

経済に生かせ
緊急支援策

問 コロナ禍事業所の経済支援を

答 現状を把握し支援を検討する

問 ふれあいらんどの整備は

答 本年度内には方針を示す

問 町民の皆さんの健康増進や体力向上、町内外の人の交流の場・憩いの場として期待されているふれあいらんど岩泉の再整備について、現在の状況と今後の見通しは。

町長 被災後、原形復旧を目指したが、河川改修による整備可能な面積の縮小や財源確保の問題から、整備計画の変更を余儀なくされてきた。町民の皆様様の健康増進や、親子で楽しめる施設、さらには将来を見据えた施設の規模や運営方法の在り方を検討し、年度内に方針・計画を説明する。



整備が待たれるふれあいらんど岩泉



畠山 昌典議員



一般質問全文
QRコード

問 少子化による学校統合やスポーツ少年団活動の構成団員の広範囲化により、練習に参

加するための送り迎えなど、親・家族の負担が大きくなっている。子どもたちが、好き

答 関係者と調査・検討する

問 子どものスポーツ支援を

なスポーツを思い切り楽しめる環境を創るため、関係団体や関係者との意見交換等しながら、町としての支援を検討すべきでは。

町長 町ではこれまで様々な支援を行ってきたが、少子化などの影響から以前に比べて保護者負担も増加していると認識している。町の未来を担う児童生徒のスポーツ活動を通じた仲間づくりや、健全育成の取り組みは重要である。関係者の意見を聞きながら調査検討する。

問 町民の皆さんのスポーツ活動や体力維持・向上、丈夫な身体づくりのため、スポーツジムの整備について要望する声がある。町内にある廃校施設を活用し、まずは小規模な整備からでも始める考えはないか。

町長 町民の皆様様の体力の維持や向上など、スポーツジムの持つ役割と重要性は認識している。廃校舎の活用や、安全管理の問題なども含め、総合的に整備の可能性について探る。

答 可能性を探る

問 ジムの整備を

17文字のひとりごと

全集中
笑顔が光る
まちづくり



佐藤 安美議員



一般質問全文
QRコード

問 現在、岩泉町の2人と葛巻町1人の開業獣医師が家畜診療を行っている。しかも、本町と田野畑村を管轄し、広範囲の業務となっている。
平成30年に1人の廃業があり、本年1月には農業共済組合でも管内の診療が休止となった。獣医師不足は深刻な状況だ。
家畜を死亡させる事

態になれば死活問題になる。早急に獣医師確保に向けた取り組みが必要と考える。
畜産酪農業の振興のために町自らが獣医師を抱える考えはないか。
町長 獣医師不足は、町としても最重要課題の一つであると認識している。
小本中野地区の家畜診療所は、本年1月18

問 早急に獣医師確保対策を 答 最重要課題の一つと認識

問 平成26年第1回定例会の一般質問での答弁は「最重要課題として取り組む」だった。前町長の答弁であるが、どのように取り組んだのか。
答 北海道で開業獣医師をしている宮古市出

日に休止し、再開の見通しが立たない状況にある。
同じ診療エリアになっている田野畑村と1月14日に県農業共済組合、岩手県および新岩手農業協同組合に対し、獣医師の診療体制の確保などの要望を行った。
引き続き要望活動を行い、早期再開に向けて取り組んで行く。

問 平成20年3月と本年1月、家畜診療所が休止している。再開は難しいことではないか。将来を見据えた獣医師確保対策として、医師奨励学生制度と同様の採用も視野に入れるべきではないか。
答 北海道で開業獣医師

身の人に要請したが、実現できなかった。



農家も牛も安心 町の獣医師

問 町政の総括と二期目出馬は

答 “未来プラン” 実現に取り組む



畠山 和英議員



一般質問全文
QRコード

問 平成30年1月、中居町長が初当選してから早3年4カ月が過ぎ、最優先課題である台風災害からの復旧復興などを概ね成し遂げている。
また、令和2年2月には、町の総合計画を策定し、人口減少対策など総合的に取り組んできた。
中居町長は、これから自ら策定した、町総合計画の実現に向け、種をまき、水をやり、花を咲かせなければならぬ。
中居町長自身のこれまでの総括と二期目への出馬の決意を伺う。

問 町では、現在、新しい過疎法に基づき、過疎計画の策定作業を進めている。
新たな過疎対策の視点を踏まえ、町の過疎の実態を十分に捉えて、施策、事業を立案

問 新過疎計画の施策立案は 答 子育て・移住定住を促進

し推進するべきであるが、どのように取り組めるのか。
町長 今回、策定する「岩泉町過疎地域持続的発展計画」は、制度の重点項目に沿った形

町長 私は、台風大災害を克服し「元気あふれるふるさと岩泉の再生」を目指し、全力で取り組んできた。今年度中には、復旧復興の先が見える段階までできている。
また、産業・経済の活性化、健康、福祉、教育の充実など、町民の安全、安心で豊かな暮らしのための施策を一つ一つ進めてきた。
今、直面している最重要課題は、少子・高齢化、人口減少・過疎の問題である。これま

で以上に定住対策などの強化が重要である。
また、国道340号や455号の整備、ふれあいランド岩泉の再整備などのインフラ整備、脱炭素に向けた再生可能エネルギーの推進など、重要な施策も数多くある。これらの課題を解決していかなければならぬ。
そのため、「岩泉町未来づくりプラン」を着実に推進し、「希望の大地から未来の花咲くいわいずみ」の政策実現に取り組む。

で、町の将来を見据え、移住・定住対策をはじめ、子育て環境の充実など、過疎地域の抱える課題に積極的に取り組む考えである。
問 地域に活力をもたらす人材をどのように

確保・育成していくか。

町長 各地区における人材の育成・確保への支援、地域おこし協力隊の募集や、移住・定住施策の促進を、これまで以上に拡大強化していく。



地域おこし協力隊活動報告会 今後の活動にも期待

17文字の
ひとりごと

ポスト復興
花咲かせると
熱い意思

17文字の
ひとりごと

牛たちの
安心の顔
明日が見え



千葉 泰彦議員



一般質問全文
QRコード

問 減っていく歳入のなか、多くの課題を解決しなければならぬ。資源の確保育成と効率の改善は、本町において大きな課題である。

町長 地域再生計画の認定を昨年11月に内閣府から受け、同制度による寄付金の受入体制が整った。本年度に入り4月からの2か月間で、県内外8企業から10件740万円の申し出をいただき、4件520万円は「魅力ある居住環境の整備事業」に、6件220万円は「企業版

問 企業版ふるさと納税の戦略は 答 認知度を高め、積極的に展開

ふるさと納税伴走支援事業への充当を予定している。

いまだに本制度の認知度が高くないことから、PR活動と地方創生に必要な既存事業の効果を高める見直しや、新規事業の創設などを行っていく。

問 公共交通網の構築は

答 安家地区で実証実験

問 各地域で加齢による免許返納や災害によるコミュニティの変化により各種手続き、通院、買い物不自由になったとの声を伺う。

町長 デマンド交通の実施地域は、大川地区である。



大川地区コミュニティタクシー

17文字のひとりごと

難局も多くの人手と手を取って



林崎 竟次郎議員



一般質問全文
QRコード

問 次期出馬の決意は

答 町勢発展に取り組む

問 町長は、令和3年度の施政方針演説で「復旧復興の総仕上げと持続するまちづくり」を引き続き行っていくとしている。

いくこと。皆さんが、より幸せを感じ、生きがいを実感できる環境を整備し、次の世代につないでいきたい。昨年からは、新型コロナウイルスの対応として、町民の命を守ることを最優先にしている。現在は、ワクチン接種が早く町民に行き届くよう全力で取り組んでいる。台風災害からの復旧・復興の完遂後には、「岩泉町未来づくりプラン」を着実に実行し、町勢発展のため取り組んで行きたい。

問 風力発電の影響は 答 地域の理解が必要

問 水堀地区の風力発電所に予定されている近くでは、そこに住み養豚・酪農を経営している農家がある。

彼らは、想定外の自然災害の発生、低周波の生物への影響を懸念している。補償に対する事前の合意が必要だと話す。

ここは天然記念物であるイヌワシの重要繁殖地である。この地に、風力発電所を開発するというのは、私は、持続可能な発展を目指す立場から絶対許されはならないと考えるがどうか。

町長 水堀地区の山頂付近に、東京都の民間会社が12基の風車建設するもので、現在は、国への環境影響評価の手続き中である。環境

大臣の意見を踏まえ、経済産業省の審査を経て確定となる。地域の皆さんの理解が必要である旨、事業者に申し入れを行っている。



環境影響について審査中

その他の質問
◆ 新型コロナウイルス感染症対策について
◆ 福島原発放射能汚染水の海洋放出に反対

17文字のひとりごと

生きがいは生業から明日へ咲く

大川地区での利用状況は、令和2年度の年間利用者が延べ511人。運行区域内の希望場所まで利用可能となっている。

本年度、安家地区において実証実験を行い、その結果を踏まえ次年度以降に他の地域への導入も進めたい。

問 生活支援コーディネーターを受託しているNPOなど民間の知見も活かすべきでは。

町長 地域の実情に合わせて多様な主体と連携協働を検討していく。



人材確保には 学生の興味をひく魅力

本県唯一の獣医師養成機関である岩手大学農学部共同獣医学科。産業動物内科学研究室の一條俊浩准教授にお話を伺いました。



岩手大学農学部
共同獣医学科
一條 俊浩准教授



岩手大学 農学部 共同獣医学科 産業動物内科学研究室の皆さん

岩手大学の学生

学生の出身地は、関東方面が多くを占め、岩手県出身者は6年生で0人、5年生で2人と少ない状況です。女性と男性の割合は半々で、今年の1年生は産業動物に興味を示している学生が半数近い状況で例年になく多い印象でした。

卒業生の進路状況

県内に就職する割合は、9・1%（元年度）です。小動物専門を目指す割合が5割以上になる大学があるなか、岩手大学では小動物専門、大動物専門、民間企業や進学との割合がそれぞれ3分の1とバランスが取れていると感じています。

現代の獣医師不足 教育制度改革も要因

獣医師教育が4年制

新企画 町の課題を取材

今年度の重点課題 ～獣医師不足が深刻～ ファイル①

コロナ禍で住民と語る場がない今、広聴に力を入れてさまざまな角度から取材しました。



現在3人の獣医師が支える

町では、昭和50年代には、5人の獣医師が町農業共済組合の家畜診療所に勤務して町内の家畜診療にあたっていました。

平成30年にNOSA I岩手（岩手県農業共済組合）の家畜診療所が町内に開所されましたが、共済制度の改正などにより家畜診療所の経営が悪化。獣医師の配置が厳しい状況となり、本年1月に休止している状況です。

現在は、町内の2人（新村長重郎さん、坂本喜子夫さん）と葛巻町の1人の開業獣医師が家畜診療を行っています。町内の2人の獣医師も年配であることから獣医師確保は重要な課題です。

から6年制に切り変わった時に、全国で2年間獣医師が誕生しなかった時期がありました。その時期の獣医師が一齐に定年を迎えている状況も現在の獣医師不足を招いている理由だと思えます。

人材確保のヒント

実習先へ就職先

採用側は、実習期間から人材確保に力を入れており、旅費・宿泊費を負担して実習生を招き入れています。

中央畜産会の働きかけで、関東の大学でも積極的に東北地方へ学生を送り込んでいます。この手法は、町でも取り入れることができそうです。

関東の学生に夏休み中に町へ実習に来てもらい、町に興味を持ってもらうのもきっかけになるのではないのでしょうか。

農家の声

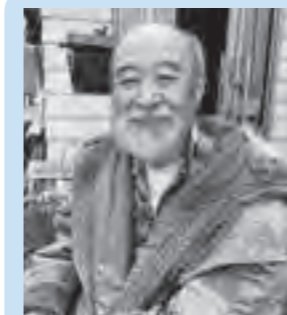


阿部 将志さん
(大牛内)

共済獣医師が撤退し、町外からも診療に来てもらっているのが現状です。

休日や救急時の対応など今後獣医師の人材確保が望まれています。

獣医の声



坂本 喜子夫さん
(小川)

毎月30軒の農家を訪問し、町内のウシ約200頭とブタなどを診ています。将来的に獣医師の確保は必要だと思いますが、現状から見ると行政から何らかの支援が必要ではないでしょうか。

学生の声

具体的に将来を考えたのが2分の1成人式（※）での夢発表でした。幼い頃から動物が好きで、動物に携われる資格があれば、仕事の幅も広がると思い獣医師を目指しました。



6年生
菅原 里佳さん
(東京都出身)

とにかく動物が小さい頃から好きでした。

動物を助ける仕事と考えたとき獣医師免許を持っていれば最強だと思いました。



5年生
吉田 菜優さん
(岩手県出身)

大学では大動物の実習も多くて縁あってこの研究室に入りました。将来は、岩手県の家畜保健所で家畜防疫員として勤務したいと考えています。



6年生
山村 実穂さん
(新潟県出身)

文化的背景がある短角牛を県でもっと推していったらすごくいいブランドになると思います。

岩手の畜産はもっと良くなると思うので、日本短角を推す畜産に協力していきたいです。



5年生
照井 周二さん
(岩手県出身)

(※) 成人の2分の1の年齢である10歳を迎えたことを記念して行われる行事。



本町は、震災や度重なる豪雨災害で、多くの住宅が被災しました。
公営住宅への入居や住宅再建も進み、復興の道を歩んでいる町民の声をお伝えします。



竹花 義孝さん
(73・爰綿)

台風 10 号豪雨災害で、家は床上 1 m50cm 浸水し大規模半壊でした。
泥出しなどの作業はとても辛く、体調不良にもなりましたが、多くの方々の支援をいただき何とか再建することができました。
写真など、思い出の多くを失ったのはとても残念ですが、孫の成長を見守り元気に頑張っています。

議会を傍聴しませんか

次回の定例会は

- 9月 9日(木) 本会議・一般質問
 - 10日(金) 一般質問
 - 13日(月) 条例補正予算審査・本会議
 - 15日(水) 決算審査
 - 16日(木) 決算審査
 - 17日(金) 決算審査・本会議
- の予定です。

※都合により変更となる場合があります。

(決算審査は、令和2年度決算について審議を行います。)
会場は、役場大会議室です。

議会からのおすすめ絵本

今回、町の課題取材で獣医師不足を取り上げてみました。獣医さんに興味を持ってくれる子がいたらうれしいです。
町立図書館でも貸出可能です。



「夢は牛のお医者さん」

著：時田 美昭
絵：江頭 路子



取材の際はよろしくお願いします



広報広聴常任委員会メンバー



ダイバー3人が10万個の稚魚を手作業で岩場に放流

5月28日、小本浜漁協は、アワビの稚貝放流を行いました。この稚貝は、放流から4〜5年で収穫が可能となります。
今年からは国・県の震災復興関連補助が無くなり、町と漁協とで半分以上費用負担して実施されました。

まちの光景 「アワビの稚貝放流」

広報広聴常任委員会

委員長	昌山
副委員長	佐藤
委員	八重樫 龍介
	安美
	昌典
	野館 千葉
	和英
	泰彦
	泰喜



町 HP
議会だより
QRコード

▽岩泉町議会も5月から新体制となり、議会だより編集メンバーが一新しました▽議会だよりは、議会活動と同様に、皆さんの声をしっかりと聴き、施策・紙面に挙げることも重要な作業です。
取材要請の際はご協力をよろしくお願い致します▽前年度の全国コンクール第2位の成績を超えるのは至難の業です▽委員一丸となり研さんを積みながら、親しみが有り、発行が待ち遠しいと思われるような議会だよりの編集に励んでいきます。
広報広聴常任委員長
昌山 昌典

編集後記

古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と、森林の再生に取り組む岩手県岩泉町との連携により実現した「森の町内会一問伐に寄与した紙」を使用しています。

